

～教員インタビュー（新島村編②）～

新島村立式根島中学校 主任教諭

1 島に赴任しようと思ったきっかけを教えてください。

専科が理科のため、自然が豊かな場所での環境を生かした指導に興味がありました。そんな時、島への赴任経験がある先生の話聞き、「島しょ公募説明会」への参加をしました。それぞれの島の特色ある教育や環境を知り、より興味が強くなりました。家族の理解、後押しもあり、島への異動を希望しました。

2 児童（生徒）の人数が少ないことについて、どう感じていますか？

集団での生活指導がやりづらかったり、多様な意見が出にくいといったところで難しいところはあります。また、チームスポーツの部活動はメンバーが集まりにくく活動に工夫が必要です。ただ、一人ひとりをしっかりとみとることができ、個に合わせた指導がしやすいです。その分信頼関係も築きやすいです。部活動に関しても、島しょに合わせた活動を模索中です。

3 島の学校と内地の学校で違いがあると感じることは何ですか？

生徒が少ないため、一人一人の成果物をじっくりと見ることができ、指導にとっても生かしやすいです。また、生徒も教員も一人で多くの役割を担うことになります。忙しいこともありますが、多様な経験ができるため、教員も生徒も成長につながっていると感じています。

4 仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったことを教えてください。

教員一人ひとりの役割が多く、思っていたよりも忙しいと感じることはあります。しかし、その分様々な経験をすることができ、とても良い経験となっています。また、通販が内地と同じように届くのは驚きました。場合によっては1～2日ほどで頼んだものが届きます。

5 島だからできたことがあれば教えてください。

保護者をはじめ、島民の方とはプライベートでも関わる機会が多くあるので、そういった関係を学習指導で生かしやすいです。理科では漁協の方に協力してもらって、解剖に使う教材を仕入れることができたり、部活動指導に協力してくださる島民の方もいます。また、島ならではの地域活動もあり、浜清掃など子どもと楽しく参加させてもらっています。

6 日常生活での買い物はどうしていますか。

個人商店が3件あり、普段はあまり困りません。しかし、荒天で店に食料が届かないこともあるので、我が家では常にストックをしています。また、通販が内地と同じように届くので、生活雑貨など島で手に入らないものは、それを利用しています。思っているほど不便は感じていません。

7 休日は、何をして過ごしていますか？

子どもと釣りや海遊び、散歩などのんびり過ごしています。また、地域活動のサッカーやバレー、ゲートボールなどで島民の方と一緒に汗を流すことも多いです。家族と過ごす時間が多く取れるようになり、とても充実した日々を過ごしています。

8 島の学校に来て、最も印象に残っていることを教えてください。

行事や日々の生活などどれも印象深いです、一つ挙げるならキャリア教室です。中学1年生で職場訪問、中学2年生で職場体験を行う目的で内地に行く宿泊行事です。船での異動や荒天時の対応、また3泊5日という長い時間を生徒とともに過ごすのは、良い思い出にもなりました。

9 島での生活や仕事の一番の魅力を教えてください。

生徒一人一人としっかりと向き合うことができ、充実した時間が過ごせます。また、小規模校ということで、いろいろなことを提案、実行しやすいです。やりたいことがある方はとても充実した日々になると思います。

10 島への赴任を検討している方に一言お願いします。

公募説明会で「不便さはあるが不自由はない」とお話をしてくださった方がいましたが、まさにそれを実感しています。自然豊かな環境で家族と過ごすことができ、仕事ではやりたいことに挑戦させてもらえることも多いです。長い教員人生でとても良い機会となるはずです。迷っている方はぜひ飛び込んでみてください。温かく迎え入れてもらえます！